



# 鶴の便り 鶴の便り

## 第八回 おきたま語りフェスティバル

六月十八日(日)おきたま語り部の会(丸山尚会長)主催の「第八回おきたま語りフェスティバル」が、夕鶴の里語り部ホールで開催されました。

丸山会長の挨拶で開会し、「民話会ゆうづる」の菅野敏子さんが、「天狗の転び下駄」を語り、会が始まりました。その後、各語り部の会の代表が、地区の伝説民話や、笑い話、伝承民話などを、次々と語り、入場者は、笑ったりうなずいたりしながら、民話の語りを堪能されていました。

その他に、今回は、小学生八

夕鶴の里資料館報  
平成29年7月20日  
第 79号  
発行 夕鶴の里  
TEL 47-5800

名が出演しました。かわいらしくもあり、堂々とした語りでした！  
最後は、まほろば語り部の会、雲井 倫子さんが高島の伝説民話「奥の院沼のおしどり」を語り終了しました。



## ～平成29年度まゆの里事業～

### 蚕の飼育

六月八日(水)から、飼育を始めた蚕が、あつという間に成長し、六月末には、各々が、「まぶし」の中に納まり、全ての蚕が繭になりました。その後出来上がった繭を、まぶしから、剥がして、乾燥機で、乾燥させました。

夕鶴の里で飼育した繭は、染織り講習会で、真綿を作り、マフラーの一部になります。他の施設では、繭を煮て、糸を取ったり、繭玉を切つて、くつつけたりして、お花のブローチや、動物などを作っているようです。



### オリジナルマフラー 染め織り講習会

かつて、製糸業の地域として栄えた事に鑑み、真綿を染色し、織りの伝統技術に触れ染織りの楽しさ、素晴らしさを体験していただく染織り講習会が、始まりました！

今年度は、東根市や寒河江市と遠方からの参加も含め三十一名が参加。今年度も、四回の講習で、真綿を草木染めし、糸を紡いで、マフラーを織りあげます。

今年度は、紅茶、玉ねぎの皮と赤じその中から選びます。

第一回目の講座は、織物工芸家の川合ひさ子氏より、指導を受けてマフラーのデザインを考案。その後、高島町の安部吉数氏の指導の元、繭から真綿をつくりました。

初参加の方も多かったのですが、スムーズに繭から蛹をとりだし、丁寧に引き伸ばし、きれいな真綿が完成しました。

この真綿は、これから織るマフラーの一部に織り込まれます。



## 感じる山形講座終了

山形大学の学生七名が受講した「感じる山形」講座が、七月八日で終了しました。

この講座は五月二十一日から四回の日程で「語り部の方々にご指導いただき、南陽の民話を学び、憶え、方言で語りを行う。民話ゆかりの地を巡るツアーや機織り体験も行い、民話への理解を深めつつ、南陽の文化を学ぶ機会とする。」を内容として行われました。

最終日は、今まで練習してきた語りの成果を発表した後、講師の先生より講評を頂き、記念品(民話集)が一人一人に手渡されました。今回体験したことを今後の学生生活に生かしてほしいです。お疲れ様でした。



## 語り部養成講座

講演会

夕鶴の里 語り部養成講座の一環として、七月二日(日)午後一時三十分より、田川民話の会長の帯刀春男さんを講師にお迎えし、講演会を開催しました。

講演の中で帯刀さんは、小学校に行くとき、「ウサギとカメ」の続編を語っているという事をお話してくださいました。

うさぎと亀が再度勝負をするお話ですが、このお話を通して、相手の悪い面だけを見て判断せずに、良い面を探して欲しい、色々な視点を持つ事の大切さを学んでほしいという、次世代へのご自身の想いも語られました。

田川地区での終わりの句である「トンピンカラリ、ネツケド」は、囲炉裏にかけられている土瓶が空になり、無くなったので、話は終わりですよ。というところから来たそうです。

終始、和やかなムードの中、民話を中心とした、有意義な講演会となりました。



## 字幕入りDVD好評!

海外からのお客様にも、語りを楽しんでいただく為に、「鶴の恩返し」の(英語、韓国語、中国語字幕入り)DVDを南陽市観光推進会議さんより作って頂きました。

先月一五日、国際遺伝子学会に参加された研究者約三十名が、夕鶴の里を訪れ、語りと機織りを体験。

語りを聴いた外国人の方は、「日本語は分からないが、聞こえてくる日本語は素敵な音楽のようでした!」と喜んでくださいました。



七月一四日(金)に、全国青年市長会の、北海道登別市、青森県むつ市、山形市、そして、南陽市長の四名の市長が夕鶴の里に来館されました。「民話会ゆうづる」の会長菅野敏子さんが語った「鶴の恩返し」と「真心の一文銭」を聴いて、とても良かった!施設も素晴らしい!との感想を頂きました。

## 青年市長会様が来館



## エフエム山形に生出演

七月十四日、「岩崎敬のラジオオロイド」というラジオ番組に夕鶴の里館長と、民話会ゆうづるの菅野会長が、生出演し、約三分間で高橋館長は、なぜ、ここに夕鶴の里が建てられたのかの説明や、館内の事、アクセス方法などについて語りました。

菅野会長は、民話「クモとハチ」と民話会ゆうづるの活動について語りました。

県内での知名度がますます向上し、たくさんの方が語りを聴きに来てくださると嬉しいです!